



2024年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年6月13日

上場会社名 セルソース株式会社 上場取引所 東
コード番号 4880 URL <https://www.cellsource.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 澤田貴司
問合せ先責任者（役職名） 執行役員 管理本部長（氏名） 大西勝二（TEL） 0364555308
四半期報告書提出予定日 2024年6月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有（投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年10月期第2四半期の業績（2023年11月1日～2024年4月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	2,227	2.6	281	△57.3	388	△40.3	299	△26.8
2023年10月期第2四半期	2,170	27.9	659	34.4	650	31.1	410	33.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2024年10月期第2四半期	15.15		15.07					
2023年10月期第2四半期	21.94		21.34					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年10月期第2四半期	6,876	6,096	87.9
2023年10月期	6,879	6,201	89.4

（参考）自己資本 2024年10月期第2四半期 6,047百万円 2023年10月期 6,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年10月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年10月期	—	0.00	—	—	—
2024年10月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年10月期の業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	5,368	19.0	1,003	△17.8	1,037	△13.1	719	△22.0	36.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年10月期 2 Q	19,806,100株	2023年10月期	19,761,100株
2024年10月期 2 Q	580株	2023年10月期	575株
2024年10月期 2 Q	19,798,452株	2023年10月期 2 Q	18,690,719株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年6月13日（木）に、オンラインによる投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「Change Our Future 未来を変える」をパーパスとして掲げ、「Freedom of Life with Medical Revolution すべての人生に自由を 医療に革命を」をミッションとして、組織・細胞の加工受託・保管サービス、コンサルティングサービス、医療機器販売、及び化粧品販売その他から構成される「再生医療関連事業」を行っております。また、これら再生医療関連事業の産業化推進と同業での新たな価値創出を通して、社会課題の解決と企業価値の最大化に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間における我が国経済は、海外経済の回復ペース鈍化の影響を受けつつも、緩やかな回復傾向が続きました。今後、潜在的成長率を上回る成長が続く見込みである一方、海外の経済や物価動向、資源価格の動向、企業の賃金・価格設定などの各リスク要因を鑑みると、依然として見通し実現の不確実性は高い状況にあります。このような外的環境の中で、当社では、主力事業である加工受託サービスにおいて新たな取り組みを実施しています。具体的には、脂肪由来幹細胞加工受託サービスにおいて、患者様から採取する脂肪組織量を従来の約1/100に抑える加工手法へのアップデートを実施しました。また血液由来加工受託サービスにおいては、従来よりも抗炎症作用や組織修復作用が期待される成長因子量を多く含有し、炎症性サイトカインの量を抑えた自家血液由来サイトカイン「PFC-FDTM (2.0)」の加工受託を開始しました。

加えて、卵子凍結保管受託サービス「卵子凍結あんしんバンクTM」のサービス提供を開始しました。少子高齢化対策が急務である我が国においては、首都である東京都において女性の卵子凍結に対する助成が開始され、全国の自治体においても同様の動きが加速する見込みです。そのような状況の中、「卵子凍結あんしんバンクTM」は企業の福利厚生としても上場企業を中心に導入が進んでおり、伊藤忠商事株式会社をはじめ3社の企業と同サービスにおける業務提携が決定しました。提携先企業は今後も拡大していく見込みです。

一方、業容拡大及び企業価値の最大化に向けた人員の増強等の戦略的なコストを投下してきたことにより販売費及び一般管理費は前年同期と比較し増加しました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は2,227,673千円（前年同期比2.6%増）、売上総利益は1,424,890千円（前年同期比7.6%減）、販売費及び一般管理費は1,143,415千円（前年同期比29.4%増）、営業利益は281,475千円（前年同期比57.3%減）、経常利益は388,230千円（前年同期比40.3%減）、四半期純利益は299,977千円（前年同期比26.8%減）となりました。今後も新サービスの開発・既存事業の積極的な推進は行ってまいります。主な人員・設備投資が完了したことで、売上の拡大とともに利益も拡大していく見込みです。

各サービス別の概況は、以下のとおりです。なお、当社は「再生医療関連事業」の単一セグメントを採用しております。

(加工受託サービス・コンサルティングサービス)

加工受託サービス又はコンサルティングサービスの契約を締結した提携医療機関数は前事業年度末から116院増加し、当第2四半期会計期間末には1,865院となりました。また、血液由来加工受託サービスと脂肪由来幹細胞加工受託サービスを合計した加工受託件数は、前年同期の13,398件に対して当第2四半期累計期間は11,255件となりました。

上記の結果、当第2四半期累計期間の加工受託サービスの売上高は1,336,267千円（前年同期比9.6%減）、コンサルティングサービスの売上高は119,419千円（前年同期比46.3%減）となりました。

(医療機器販売)

医療機器販売は、主に美容クリニック等の医療機関に脂肪吸引機器等の医療機器を販売しております。当第2四半期累計期間の売上高は、取引先への販売の拡大に伴い486,358千円（前年同期比35.6%増）となりました。

(化粧品販売その他)

化粧品販売はBtoCモデルとBtoBモデルがあります。BtoCモデルは、主に自社Webサイトを中心に自社の化粧品を販売しております。またBtoBモデルは、自社で開発した化粧品原料を販売会社に提供、及び販売会社の委託を受けて自社化粧品原料を用いたOEM製造・販売をしております。当第2四半期累計期間は、BtoBモデルによる化粧品販売の増加により、売上高は285,629千円（前年同期比157.9%増）となりました。

当社が経営上の主要係数としてモニタリングしている加工受託サービス又はコンサルティング契約を締結した「提携医療機関数」、血液由来加工受託サービスと脂肪由来幹細胞加工受託サービスを合計した「加工受託件数」及び「営業利益率」の各数値、並びに「サービス分類別売上高」の四半期（3カ月）推移は以下のとおりとなっております。

(金額単位：千円)

	2023/10期 第2四半期	2023/10期 第3四半期	2023/10期 第4四半期	2024/10期 第1四半期	2024/10期 第2四半期	直前四半期 対比
提携医療機関数（期末）	1,557院	1,654院	1,749院	1,802院	1,865院	+63院
加工受託件数	6,878件	7,186件	6,049件	5,685件	5,570件	△115件
営業利益率	27.7%	31.1%	16.2%	17.5%	7.2%	△10.3ポイント
(サービス分類別売上高)						
加工受託サービス	735,375	873,909	793,559	664,394	671,872	+1.1%
コンサルティングサービス	109,030	134,791	77,989	56,648	62,770	+10.8%
医療機器販売	177,785	166,358	179,775	297,761	188,596	△36.7%
化粧品販売その他	88,890	60,456	53,091	154,711	130,917	△15.4%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は6,876,231千円と前事業年度末から3,505千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が213,250千円増加した一方で、現金及び預金が182,122千円減少したこと及び商品及び製品が55,954千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は779,502千円と前事業年度末から101,765千円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が137,608千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は6,096,729千円と前事業年度末から105,270千円減少いたしました。これは主に、四半期純利益を299,977千円計上した一方で、配当金の支払い395,210千円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は4,598,899千円となり、前事業年度末と比較して182,122千円減少となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は526,684千円（前年同期は458,174千円の増加）となりました。これは主に、税引前四半期純利益439,774千円の計上及び棚卸資産の減少74,051千円などがあつたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は282,741千円（前年同期は206,961千円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出277,671千円などがあつたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は426,678千円（前年同期は2,907千円の増加）となりました。これは主に、配当金の支払393,210千円などがあったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の業績予想につきましては、2023年12月15日に公表いたしました予測値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,781,022	4,598,899
売掛金	364,279	383,892
商品及び製品	153,453	97,498
仕掛品	38,196	41,279
原材料及び貯蔵品	114,276	93,096
その他	140,739	151,856
貸倒引当金	△2,787	△2,857
流動資産合計	5,589,181	5,363,665
固定資産		
有形固定資産	658,740	871,991
無形固定資産	19,809	52,952
投資その他の資産		
その他	612,169	587,787
貸倒引当金	△165	△165
投資その他の資産合計	612,004	587,622
固定資産合計	1,290,555	1,512,566
資産合計	6,879,736	6,876,231
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,463	73,997
未払法人税等	42,773	180,382
賞与引当金	40,012	61,020
役員賞与引当金	—	2,000
受注損失引当金	2,814	2,470
その他の引当金	—	2,813
その他	291,091	240,276
流動負債合計	452,156	562,961
固定負債		
資産除去債務	148,289	148,289
賞与引当金	—	1,205
その他	77,291	67,045
固定負債合計	225,581	216,540
負債合計	677,737	779,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,425,397	1,426,474
資本剰余金	1,335,397	1,336,474
利益剰余金	3,377,319	3,282,085
自己株式	△1,696	△1,703
株主資本合計	6,136,418	6,043,330
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,034	4,157
評価・換算差額等合計	14,034	4,157
新株予約権	51,546	49,240
純資産合計	6,201,999	6,096,729
負債純資産合計	6,879,736	6,876,231

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	2,170,612	2,227,673
売上原価	627,981	802,782
売上総利益	1,542,630	1,424,890
販売費及び一般管理費	883,292	1,143,415
営業利益	659,338	281,475
営業外収益		
受取利息	7	2
補助金収入	—	111,510
固定資産売却益	—	4,359
雑収入	9,135	3,221
営業外収益合計	9,143	119,094
営業外費用		
支払利息	—	720
為替差損	13,441	798
投資事業組合運用損	2,017	3,046
賃貸借契約解約損	—	1,594
支払補償費	888	5,884
その他	1,821	295
営業外費用合計	18,168	12,338
経常利益	650,312	388,230
特別利益		
投資有価証券売却益	—	46,540
新株予約権戻入益	8,495	5,004
特別利益合計	8,495	51,544
税引前四半期純利益	658,808	439,774
法人税、住民税及び事業税	240,676	157,763
法人税等調整額	8,070	△17,965
法人税等合計	248,746	139,797
四半期純利益	410,061	299,977

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	658,808	439,774
減価償却費	23,471	56,040
長期前払費用償却額	7,125	6,540
敷金償却	659	7,721
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,576	70
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,361	22,214
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,500	2,000
株式報酬費用	12,457	2,698
受取利息	△7	△2
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△4,359
補助金収入	—	△111,510
株式交付費	6	20
支払利息	—	720
為替差損益 (△は益)	16,524	△612
投資事業組合運用損益 (△は益)	2,017	3,046
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△46,540
新株予約権戻入益	△8,495	△5,004
売上債権の増減額 (△は増加)	240,204	△19,612
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,485	74,051
前渡金の増減額 (△は増加)	△15,567	△13,267
仕入債務の増減額 (△は減少)	△38,676	△1,465
前受金の増減額 (△は減少)	△2,624	△23,171
その他	△45,018	21,220
小計	856,685	410,572
利息の支払額	—	△720
利息の受取額	7	2
補助金の受取額	—	134,529
法人税等の支払額	△398,519	△20,677
法人税等の還付額	—	2,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	458,174	526,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,884	△277,671
有形固定資産の売却による収入	—	4,200
無形固定資産の取得による支出	—	△36,543
投資有価証券の取得による支出	—	△25,000
投資有価証券の売却による収入	—	33,210
長期前払費用の取得による支出	△9,983	△22
敷金及び保証金の差入による支出	△171,094	△88
敷金及び保証金の回収による収入	—	19,173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,961	△282,741

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による支出	—	△3,885
株式の発行による収入	2,907	—
自己株式の取得による支出	—	△6
上場関連費用の支出	—	△19,000
リース債務の返済による支出	—	△10,083
配当金の支払額	—	△393,210
その他	△0	△493
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,907	△426,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,524	612
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	237,595	△182,122
現金及び現金同等物の期首残高	3,123,580	4,781,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,361,176	4,598,899

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。